

平成30年12月5日
水産庁

冷凍水産物需給情報

以下の表は、さけ・ます類、えび類、いか類、さば類、さんまについて、平成30年度第3回冷凍水産物需給情報検討会(平成30年11月16日)での協議を踏まえ、最近までの需給動向、今後の冷凍水産物の需給見通し(平成30年10月～12月の供給量、卸売価格)を取りまとめたものです(※1)。

	30年7～9月の動向			30年10～12月の需給見通し(※4)
	生産量 (水産庁調べ(※2))	輸入量 (貿易統計(※3))	卸売(東京)価格 (今四半期平均価格(冷凍に限る。))	
さけ・ます類	35,374t	31,385t	1,030円/kg	供給量(生産量+輸入量)
	前年比 110 % 平年比 57 % 前期比 366 %	前年比 92 % 平年比 80 % 前期比 161 %	前年比 105 % 平年比 123 % 前期比 107 %	前年比: 横ばい 平年比: 減少 卸売(東京)価格 前年比: やや弱含み 平年比: やや強含み 前期比: やや弱含み
えび類	(※5)	40,953t	1,495円/kg	供給量(輸入量)
		前年比 85 % 平年比 92 % 前期比 130 %	前年比 89 % 平年比 91 % 前期比 101 %	前年比: やや減少 平年比: やや減少 卸売(東京)価格 前年比: やや弱含み 平年比: やや弱含み 前期比: やや強含み
いか類	38,670t	26,677t	1,104円/kg	供給量(生産量+輸入量)
	前年比 77 % 平年比 61 % 前期比 993 %	前年比 78 % 平年比 87 % 前期比 84 %	前年比 93 % 平年比 137 % 前期比 102 %	前年比: かなり減少 平年比: 大幅に減少 卸売(東京)価格 前年比: 横ばい 平年比: かなり強含み 前期比: やや強含み
さば類	56,031t	8,753t	577円/kg	供給量(生産量+輸入量) ※餌料用向けを含む供給量
	前年比 117 % 平年比 95 % 前期比 56 %	前年比 195 % 平年比 212 % 前期比 85 %	前年比 102 % 平年比 108 % 前期比 104 %	前年比: やや減少 平年比: 横ばい 卸売(東京)価格 前年比: 強含み 平年比: 強含み 前期比: やや強含み

	30年7～9月の動向			30年10～12月の需給見通し
	生産量 (水産庁調べ(※2))	輸入量 (貿易統計(※3))	卸売(東京)価格 (今四半期平均価格(冷凍に限る。))	
さんま	40,375t	666t	794円/kg	供給量(生産量+輸入量)
	前年比 205 % 平年比 94 % 前期比 (※6) - %	前年比 124 % 平年比 82 % 前期比 100 %	前年比 139 % 平年比 188 % 前期比 138 %	前年比: 大幅に増加 平年比: やや増加
				卸売(東京)価格 前年比: 横ばい 平年比: かなり強含み 前期比: 弱含み

※1. 需給見通しの表のうち「前年比」とは平成29年10～12月と対比した傾向を表し、「平年比」とは平成25～29年の10月～12月の5年平均と対比した傾向を表し、「前期比」とは平成30年7～9月と対比した傾向を表す。

※2. 「生産量」の欄の「水産庁調べ」とは、さけ・ます類については(一社)漁業情報サービスセンター(JAFIC)調べ(月別・主要漁港ベース)、その他の魚種については水産庁の「産地水産物流通調査」(月別・主要漁港ベース)の値を農林水産省の「漁業・養殖業生産統計」(年間・全国ベース)の値により補正した前年当該四半期の値に、JAFIC調べ及び「産地水産物流通調査」におけるそれぞれの今四半期の前年比を乗じて推定した値である。

※3. 「輸入量」の欄の「貿易統計」とは財務省関税局「貿易統計」である。

※4. 需給見通しの評価基準は以下のとおりである。

	供給量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	〃

※なお、「供給量」については、いずれの魚種も主な漁期に限られ、四半期毎に変動があることは自明であるため、「前期比」の見通しは省略している。

※5. えび類の生産量については、国内生産がわずかなため省略している。

※6. 「さんま」の前期比は、4～6月の生産量が極めて少量のため「-」と表記している。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班 北川、岩佐 代表: 03-3502-8111 内線6613 ダイヤルイン: 03-3502-4190
